

9月6日は

# 水を大切にする日

「9月6日」は平成6年の大渇水のために、市内全域が給水制限に入った日です。

佐世保市ではこの日を『水を大切に  
する日』としています。

この機会に改めて、佐世保市の水事情について、考えてみましょう。

## イベントのお知らせ

「水を大切にする日」イベント  
平成22年9月4日(土)  
14:00~16:00  
場所 島瀬公園  
パネル展示やヨーヨー釣り



## 1 佐世保は水源確保が難しい

標高が低く急峻な山間部、狭い平野部、海に隣接、このような特徴的な地形をしている佐世保市の河川は総じて延長が短く、川の流れは速くなっています。つまり、山間部に降った雨は、あっという間に海に流れ出てしまうのです。

地質的な問題もあり、地下水も貯まりません。

## 2 毎日の水を確保できていません

佐世保市民の皆さまが一日に使う水源の量は、過去の実績から最大で約105,000m<sup>3</sup>を見込んでいます。これに対して、安定して供給できる水源の量は77,000m<sup>3</sup>しかありません。市民の皆さまの毎日の水を確保できていないのが現状です。近年の全国的な経済不況の影響等により、水需要が伸び悩んでいます。景気の回復等にも備えた水源確保が必要です。

一日の  
水源使用量  
約105,000m<sup>3</sup>

安定水源量  
77,000m<sup>3</sup>



## 3 気象の変化も影響しています

安定して供給できるとされている水源も、近年の気象の変化の影響から、水源確保が難しくなっている水源があります。

例えば、川棚川からは毎日15,000m<sup>3</sup>を取水できる権利を持っていますが、現実には満足に取水出来ない日が年間の半分以上となる年もあります。上で説明しました77,000m<sup>3</sup>も、実際には確保できていないのです。



熱帯化  
干ばつ

ゲリラ豪雨



保有している水源量が少ないうえに、近年の気象の変化の影響を受けてさらに  
厳しい水事情になってきているから、佐世保市は渇水に弱いんだ。



石木ダムによって、これらの問題が改善されます

裏面へ

# ！ 石木ダムが出来ると水事情が大きく改善します。

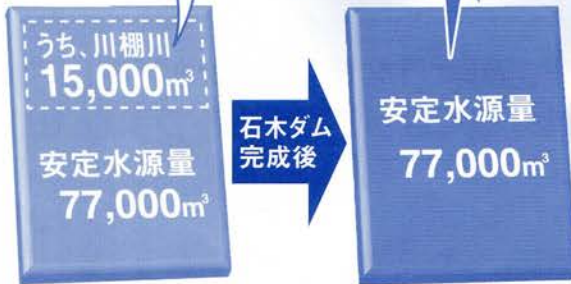
新たに日量40,000m<sup>3</sup>の水源を確保します。

現在の水源と合わせると117,000m<sup>3</sup>の水源となりますので、市民の皆さまに、毎日安心して水を使っていただくことができるようになります。



取水が不安定

取水が安定化



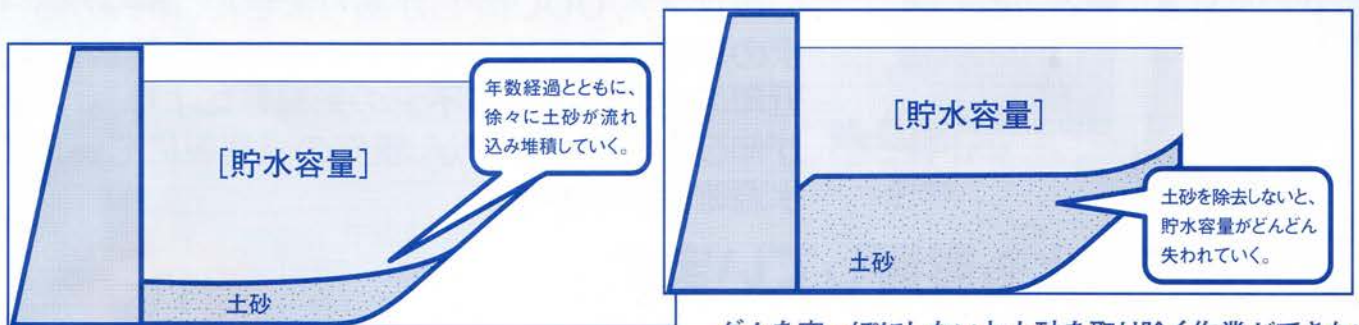
## 川棚川の取水も安定化します。

石木ダムには川棚川の流量を安定させる機能もあります。

雨が多いときにダムに水を溜め、雨が少なくて河川の水が少なくなった時に、ダムから水を放流し、河川の水量を安定化させます。

河川の水量が安定化することで、水生生物等の生育環境の保全となるだけでなく、現在、取水が不安定な川棚川からの15,000m<sup>3</sup>の取水も安定化することになります。

今までは、佐世保市の既存の古いダムの底に溜った泥を取り除く作業も出来ませんでした。ダムを空にして作業をすることができるようになります。



ダムを空っぽにしないと土砂を取り除く作業ができない。



佐世保市では漏水対策を始め、貴重な水資源の有効利用に全力で取り組んでいます。  
石木ダム建設にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市水道局  
お問い合わせは ☎24-1151